

名古屋市立大学大学院看護学研究科 Skill up course in Nursing Practice(SNP) 看護実践スキルアップコース開設

看護の基盤となる理論とスキルを修得し、看護実践力を高めるためにスキルアップコースを開設しました。科目等履修生として4単位以上の単位を修得し、ケーススタディを報告した方に修了証を交付します。

名市大 科目等履修



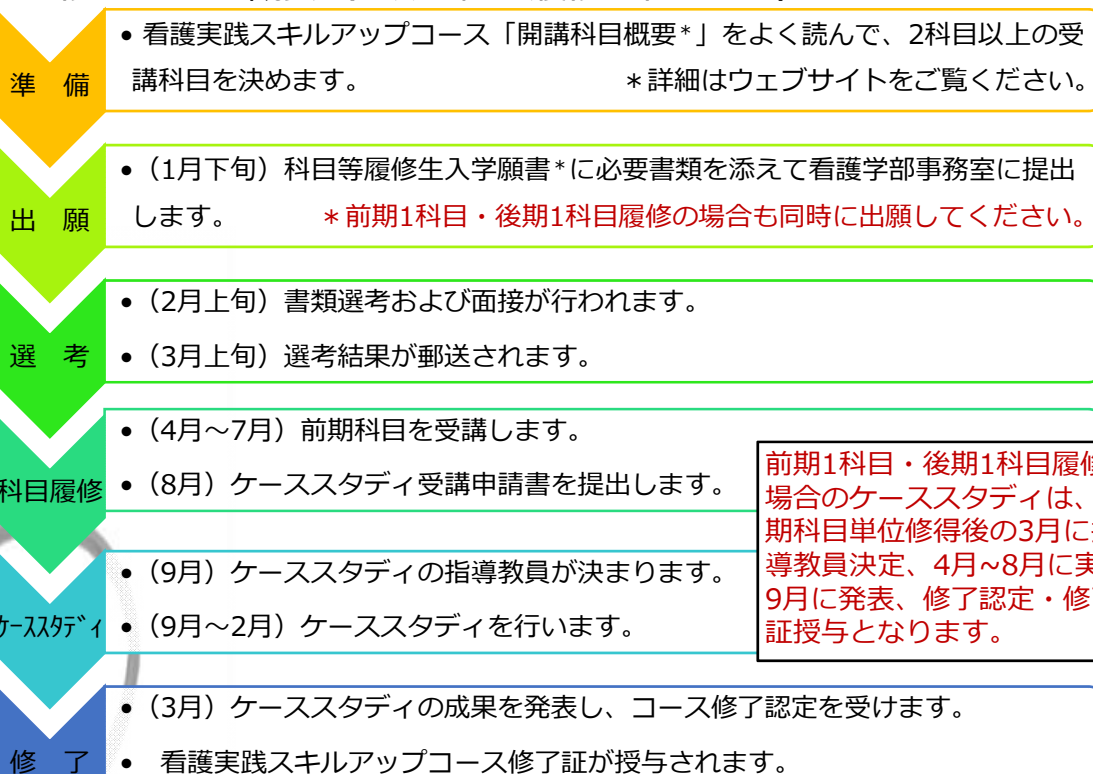
- 出願要件 : 看護師免許を有し、3年以上の職務経験があること
コース期間 : 1年または1年半
修了要件 : 2科目(4単位)以上の単位修得およびケーススタディ(1例)
* 裏面に開講科目および履修方法を示します。
- 費用 : 117,000円～ (名古屋市住民は107,000円～)

【内訳】 入学検定料	9,800円
入学料	33,200円 (名古屋市住民は23,200円)
授業料	59,200円～ (1科目29,600円)
ケーススタディ受講料	14,800円 ※別途、テキスト代等が必要な場合があります。

科目等履修生出願要項は12月頃に公表されます
出願期間・選考スケジュール等の詳細は、出願要項でご確認ください

出願書類等提出期間
平成30年1月中旬～下旬予定

申込から修了までの概要 (前期2科目履修1年コース)



前期1科目・後期1科目履修の場合のケーススタディは、後期科目単位修得後の3月に指導教員決定、4月～8月に実施、9月に発表、修了認定・修了証授与となります。

お問い合わせ : 名古屋市立大学看護学部事務室
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1
nursjimu@sec.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-853-8037

看護実践スキルアップコース 履修方法

開講科目(予定)

開講科目	単位数	開講時期
クリティカルケア看護学特論	2	前期
慢性看護学特論	2	前期
高齢者看護学特論	2	前期
精神看護学特論	2	前期
精神看護セラピー特論	2	前期
精神家族セラピー特論	2	前期
理論看護学	2	前期
看護倫理学	2	前期
緩和ケア看護論	2	前期
コンサルテーション論	2	後期
フィジカルアセスメント	2	前期
病態生理学	2	前期
臨床薬理学	2	後期
地域包括ケアシステム学特論	2	前期

修了要件は、科目履修(2科目・4単位以上)およびケーススタディ(1例)です。
前期に2科目を履修する場合は1年、前期1科目・後期1科目を履修する場合は1年半で修了します。

科目履修

- 左記から2科目(4単位)以上を履修します。
- 前期は4月～7月、後期は9月下旬～1月です。
- 1科目(2単位)は、90分授業×15回です。
- 授業に出席し、課題を提出すると単位が認定されます。
- 修得した単位は、後日大学院に入学した場合に既修得単位として認められることがあります(修了要件になるかどうかは選択した科目やコースにより異なります)。

※科目ごとに、受入限度数があります。

ケーススタディ

- 2科目以上履修後、「ケーススタディ受講申請書」を提出してください。
- 履修した科目の担当教員が個別に指導します。
- ケーススタディの発表会を行います。

修了要件を満たした方に「看護実践スキルアップコース修了証」を交付します。

履修モデル

履修テーマ/学修目標	履修科目例	ケーススタディ例
理論に基づく看護実践のスキルアップ 特定の理論を用いた事例分析や看護過程(看護問題の判断・看護計画・実施・評価)の方法を修得する。	理論看護学 クリティカルケア看護学特論	ROI適応看護モデルを用いた集中治療室入室患者の看護実践
	理論看護学 慢性看護学特論	オレム看護論を用いた慢性疾患患者の看護実践
	理論看護学 臨床薬理学	看護理論の活用による効果的な薬物療法への支援
倫理的看護実践のスキルアップ 倫理的な感受性を高めるとともに、倫理的問題への対応方法を修得する。	看護倫理学 コンサルテーション論	症例検討シートを用いた倫理的問題の分析と対応
	看護倫理学 緩和ケア看護論	終末期患者の治療方針選択における倫理的問題の分析と対応
臨床推論と臨床判断のスキルアップ 問診・視診・触診・聴診・打診の基本的技術を身につけるとともに、病気を推定し、判断するプロセスを修得する。	病態生理学 フィジカルアセスメント	身体的な問題をもつ事例の臨床推論と臨床判断のプロセス
精神看護セラピーのスキルアップ 精神領域における認知行動療法、集団認知行動療法、家族療法の理論と技術を修得する。	精神看護学特論 精神看護セラピー特論	精神的な問題をもつ事例に対する認知行動療法的視点または家族システム論的視点の活用とその評価
	精神看護学特論 精神家族セラピー特論	
地域における高齢者看護のスキルアップ 超高齢社会の課題を認識し、住み慣れた地域でその人らしく暮らせる社会づくりの基本を修得する。	高齢者看護学特論 地域包括ケアシステム学特論	地域包括ケアシステムを利用した要介護事例の看護実践